

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場会社名 株式会社音通 上場取引所 東
 コード番号 7647 URL http://www.ontsu.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡村邦彦
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 仲川進 (TEL) 06-6368-9100
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,323	△2.2	53	△54.2	31	△63.1	1	△96.1
26年3月期第1四半期	4,418	0.1	115	△23.8	86	△23.7	44	△11.1

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 3百万円(△92.8%) 26年3月期第1四半期 53百万円(△0.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	0.01	0.01
26年3月期第1四半期	0.24	0.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	12,289	3,312	25.8
26年3月期	11,547	3,329	27.8

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,176百万円 26年3月期 3,205百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.18	—	0.18	0.36
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.18	—	0.18	0.36

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,032	4.4	131	△25.2	89	△22.7	40	△25.2	0.21
通期	18,570	6.1	401	51.8	319	107.6	110	506.4	0.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	188,571,645株	26年3月期	188,566,645株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	816,753株	26年3月期	815,953株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	187,753,806株	26年3月期1Q	185,075,921株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループは、食料品・生活雑貨小売事業部門及びカラオケ関係事業部門を中核として、引き続き経営基盤の強化に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は4,323百万円(前年同四半期比2.2%減)、営業利益は53百万円(前年同四半期比54.2%減)、経常利益は31百万円(前年同四半期比63.1%減)、四半期純利益は1百万円(前年同四半期比96.1%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①食料品・生活雑貨小売事業

当事業部門は、総合100円ショップ「FLET'S」及び「百圓領事館」ならびに食品スーパー「Fマート」を運営しております。

当第1四半期連結累計期間における新規出店店舗は、次の6店舗であります。

オープン	店舗名称	所在地
平成26年4月2日	フレッツ神奈川新町店	横浜市神奈川区
平成26年4月16日	フレッツ有野店	神戸市北区
平成26年4月18日	百圓領事館ハイランド店	神奈川県横須賀市
平成26年4月25日	フレッツ甘木店	福岡県朝倉市
平成26年5月15日	フレッツサンディ西田辺店	大阪市阿倍野区
平成26年6月1日	フレッツ伊丹店	兵庫県伊丹市

なお、契約期間の満了に伴い平成26年4月にフレッツ池田店を閉店いたしました。また、FC店のフレッツ伊丹店が平成26年5月に閉店いたしました。

当第1四半期連結会計期間末日現在、「FLET'S」を直営店舗83店舗、FC店舗5店舗、「百圓領事館」を直営店舗33店舗、FC店舗2店舗、「Fマート」を直営店舗4店舗の合計127店舗を運営しております。

当連結会計年度におきましては25店舗の新規出店を計画しており、引き続き、フレッツ四辻店(千葉県市原市、7月11日)、フレッツ志津店(千葉県佐倉市、7月19日)、フレッツ芝二丁目店(東京都港区、7月26日)、百圓領事館安針塚店(神奈川県横須賀市、7月26日)ならびにフレッツ園田店(兵庫県尼崎市、8月30日)のオープンを予定しております。

また、既存店におきましても、小規模のリニューアル工事や売場のレイアウト変更などを実施して飽きのこない売り場環境を整えてまいりました。

店舗運営面におきましては、食料品の粗利率の改善を進めるとともに、食料品と比較して粗利率の高い雑貨商品の構成比を大きくするなど、品揃えの見直しを計画的に進めてまいりました。

この結果、売上総利益は増加したものの、新規出店ならびにリニューアル工事費用などの経費の増加をまかないきれず、売上高は3,334百万円(前年同四半期比3.0%減)、セグメント利益(営業利益)は30百万円(前年同四半期比40.8%減)となりました。

②カラオケ関係事業

当事業部門は、業務用カラオケ機器及び周辺機器の賃貸、卸売事業を中核事業とし、業務用ゲーム機器賃貸等事業も含んでおります。

カラオケ事業におきましては、業務用カラオケメーカー2社より商品の供給を受けており、カラオケ機器の導入提案のみならず、カラオケ店出店候補物件の紹介や内装提案なども手がけることにより、得意先に対するワンストップサービスの実現を目指しております。そのため、不動産事業者、ビルオーナーならびにビル管理会社などに対する営業の強化などにも積極的に取り組んでまいりました。

また、前事業年度より、得意先が集中する大阪・北新地エリアにおける新たな事業展開として、酒類の即時配達サービスを行う「ヨルクル」をオープンいたしました。今後は既存得意先に対するサービス向上のみならず、新規得意先の獲得にも寄与するものとして事業を展開しております。

しかしながら、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は726百万円（前年同四半期比2.0%減）、セグメント利益（営業利益）は21百万円（前年同四半期比65.8%減）となりました。

③スポーツ事業

当事業部門は、スポーツクラブ「JOYFIT」および、ホットヨガスタジオ「LAVA」を運営しております。

当第1四半期連結累計期間におきましてはJOYFIT寺田町（大阪市生野区、6月16日）をオープンいたしました。

なお、当連結会計年度におきましては2店舗の新規出店を計画しており、JOYFIT玉出（大阪市西成区、9月頃）のオープンを予定しております。

当事業部門におきましては、スタジオプログラムの質の向上と、自社スタッフのサービスレベルの向上に引き続き取り組んでおります。また、新規入会者を対象としたオリエンテーションを定期的を実施しており、入会後の定着率を高水準で維持しております。

しかしながら、当第1四半期連結累計期間におきましては、新規出店費用の増加などにより、売上高は131百万円（前年同四半期比6.0%増）、セグメント利益（営業利益）は10百万円（前年同四半期比52.3%減）となりました。

④IP事業

当事業部門は、店舗及び住宅の賃貸ならびにコインパーキング「T.O.P.24h」の運営をしております。

当第1四半期連結累計期間における賃貸店舗、賃貸住宅の新規設置はなく、コインパーキング「T.O.P.24h」の新規出店店舗は、次の12ヶ所111車室であります。

オープン	店舗名称	所在地	オープン	店舗名称	所在地
平成26年4月1日	上住吉②	大阪市住吉区	平成26年4月12日	鶴見①	大阪市鶴見区
平成26年4月1日	天津橋①	大阪市西成区	平成26年4月12日	浪速西①	大阪市浪速区
平成26年4月9日	生江①	大阪市旭区	平成26年4月12日	浪速西②	大阪市浪速区
平成26年4月9日	生江②	大阪市旭区	平成26年4月12日	浪速西③	大阪市浪速区
平成26年4月9日	生江③	大阪市旭区	平成26年4月14日	北畠①	大阪市阿倍野区
平成26年4月9日	高殿③	大阪市旭区	平成26年6月3日	南久宝寺①	大阪市中央区

当第1四半期連結会計期間末日現在63ヶ所605車室のコインパーキングを運営しております。

コインパーキング事業におきましては、近隣の競合状況や利用実績などを細かく分析することによりきめ細かな運営をした結果、増収となりましたが、新規出店費用の増加をまかなうことができませんでした。

この結果、当事業部門全体では、売上高は131百万円（前年同四半期比13.2%増）、セグメント利益（営業利益）は0百万円（前年同四半期は1百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は12,289百万円（前連結会計年度末比742百万円の増加）となりました。

流動資産は5,042百万円（前連結会計年度末比752百万円増加）となりましたが、これは、主として現金及び預金が657百万円、商品及び製品が129百万円が増加したことなどによります。

また、固定資産は7,221百万円（前連結会計年度末比9百万円の減少）となりましたが、これは、主として賃貸資産（純額）が30百万円、建物及び構築物（純額）が19百万円増加したものの、差入保証金が28百万円、のれんが19百万円、建設協力金が19百万円減少したことなどによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債総額は8,977百万円（前連結会計年度末比759百万円の増加）となりました。

流動負債は4,101百万円（前連結会計年度末比172百万円の増加）となりましたが、これは、主として、1年内

返済予定の長期借入金が115百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が152百万円、1年内償還予定の社債が80百万円、1年内支払予定の長期割賦未払金が14百万円増加したことなどによります。

また、固定負債は4,876百万円（前連結会計年度末比587百万円の増加）となりましたが、これは、主として社債が385百万円、長期借入金が148百万円、長期割賦未払金が31百万円増加したことなどによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は3,312百万円（前連結会計年度末比17百万円の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期（累計）及び通期における連結業績予想は、平成26年5月9日に公表しました「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載した数値から修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社の建物及び構築物、賃貸資産(建物及び機械装置)以外の有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法については、従来、主として定率法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社グループでは、これまでの設備投資実績ならびに今後の設備投資計画をもとに、有形固定資産の償却方法を見直しました。この結果、有形固定資産が経年しても主たる経済的減価の要因である設備利用度と比例関係にある来店客数が維持されることが見込まれるため、今後は減価償却費を均等配分することがより適切であることから、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の売上総利益が3,710千円、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益がそれぞれ11,590千円増加しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,047,770	2,705,490
受取手形及び売掛金	512,471	445,920
商品及び製品	1,363,523	1,493,104
前払費用	178,585	213,920
繰延税金資産	39,760	46,697
その他	152,376	141,148
貸倒引当金	△4,550	△3,551
流動資産合計	4,289,938	5,042,729
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産(純額)	1,755,982	1,786,335
建物及び構築物(純額)	1,528,318	1,547,413
土地	881,217	881,217
その他(純額)	470,283	489,799
有形固定資産合計	4,635,802	4,704,765
無形固定資産		
のれん	436,056	416,731
その他	22,842	21,760
無形固定資産合計	458,899	438,492
投資その他の資産		
投資有価証券	125,800	133,643
建設協力金	595,916	576,397
差入保証金	1,155,729	1,127,531
繰延税金資産	91,204	72,393
その他	174,764	174,884
貸倒引当金	△7,131	△7,101
投資その他の資産合計	2,136,282	2,077,749
固定資産合計	7,230,984	7,221,007
繰延資産	26,347	25,863
資産合計	11,547,270	12,289,600

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,452,608	1,605,123
1年内返済予定の長期借入金	1,265,756	1,150,168
1年内償還予定の社債	579,500	660,000
1年内支払予定の長期割賦未払金	276,466	290,492
未払法人税等	34,691	43,469
資産除去債務	1,100	—
その他	318,129	351,825
流動負債合計	3,928,252	4,101,079
固定負債		
社債	345,000	730,000
長期借入金	2,858,991	3,007,524
長期割賦未払金	627,721	659,176
役員退職慰労引当金	66,182	71,697
退職給付に係る負債	93,394	99,797
資産除去債務	76,454	76,817
その他	221,620	231,430
固定負債合計	4,289,363	4,876,444
負債合計	8,217,616	8,977,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,487,479	1,487,536
資本剰余金	1,529,785	1,529,842
利益剰余金	202,752	170,711
自己株式	△38,795	△38,826
株主資本合計	3,181,221	3,149,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,640	26,995
その他の包括利益累計額合計	24,640	26,995
新株予約権	70,901	83,164
少数株主持分	52,890	52,651
純資産合計	3,329,653	3,312,076
負債純資産合計	11,547,270	12,289,600

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	4,418,389	4,323,301
売上原価	3,004,629	2,885,780
売上総利益	1,413,760	1,437,521
販売費及び一般管理費	1,297,870	1,384,474
営業利益	115,890	53,046
営業外収益		
受取利息	5,242	4,328
受取配当金	680	680
持分法による投資利益	—	183
その他	1,381	2,342
営業外収益合計	7,304	7,533
営業外費用		
支払利息	17,981	17,582
支払保証料	6,135	2,935
社債発行費償却	8,282	5,596
その他	4,627	2,677
営業外費用合計	37,026	28,791
経常利益	86,167	31,788
特別利益		
持分変動利益	13,278	—
その他	20	10
特別利益合計	13,298	10
特別損失		
店舗閉鎖損失	1,756	3,064
その他	—	24
特別損失合計	1,756	3,088
税金等調整前四半期純利益	97,709	28,710
法人税、住民税及び事業税	25,455	16,624
法人税等調整額	24,212	10,569
法人税等合計	49,667	27,194
少数株主損益調整前四半期純利益	48,041	1,515
少数株主利益又は少数株主損失(△)	3,548	△238
四半期純利益	44,493	1,754

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	48,041	1,515
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,522	2,355
その他の包括利益合計	5,522	2,355
四半期包括利益	53,563	3,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,015	4,110
少数株主に係る四半期包括利益	3,548	△238

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。